

『伊能忠敬研究』 第79号 目次一覧

■頁 表紙は -1、表紙解説・目次は 0 としています。
 ■凡 例 [ジャンル] ●=日記 ■=史料・資料 ◎=伊能忠敬 ○=周囲の人物 △=史跡めぐり
 [表 題] 《 》=誤記の訂正 例：伊能図探究 第一〇号 伊能図見て歩き (三) 《 (四) 正当》
 [] =内容の注記 例：伊能家文書紹介 十一 その二 枇榔嶋〔日向国臼杵郡〕

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日
79号	表紙	1	表紙 伊能忠敬研究 二〇一六年 第七十九号 史料と伊能図	伊能忠敬研究会	79--1	20160630
		2	表紙解説 国立歴史民族博物館蔵 伊能大図 第一三七号 部分《歴史民俗博物館 正当》 (河出書房新社版『伊能図大全』より引用)	渡辺 一郎	79-0	
		3	目次		79-0	
	●伊予西条藩大庄屋久門家文書 [文化05戊辰年第六次測量 (1808)]	話題	4	愛媛県立図書館 久門家文書 解説 (三)	解説者 伊藤 栄子 記事整理 渡辺 一郎 同 高宮 勲	79-1
			5	志摩の的矢と越賀村を訪ねて 第五次測量と幕末幕府海軍測量の軌跡 文化二年 (一八〇五)、伊能測量隊が第五次測量往路で訪れた地 幕末文久二～三年 (一八六二～一八六三) にかけて幕府海軍が「尾勢志三箇国測量」を行った地 私は、この幕府海軍測量に絵図方として参加し、のち近代地図作成に貢献した岩橋新吾 (教章) に興味を持っている 的矢の港 文久二年八月三日 [1862. 08. 27] 咸臨丸入港、「尾勢志測量チーム」が上陸 幕府測量隊の尾勢志測量から八年後。的矢湾は再び測量船を迎え入れる。明治三年五月 (一八七〇)、新政府は急務の水路測量事業として南海測量事業を決定。海軍の第一丁卯と英国測量船「シルビア号」との共同で行われたが、的矢湾はその初地であった。日本側の測量主任は翌年水路部を創設する柳 樽悦である 越賀村 伊能隊は僅か二日だったが、幕府海軍の測量隊はこの越賀村に実に一ヶ月滞在した 岩橋新吾は伊勢松阪 (周辺とも) の出身である	野田 雅子	79-7
						79-10
						79-11
						79-12
						79-16
			6	川幅測定場面を記した野帳の解説と検証 芦田川の川幅 [広島県福山市]	戸村 茂昭	79-19
◎新説伊能忠敬物語			7	連載 新説 伊能測量物語 (再開) 第五話 第二次測量始まる《第六話 第二次・第三次測量始まる 正当》 仙台領の、松島湾、三陸海岸で大々的に海上引き縄 幕府の公用扱いとなる 第二次測量の成果を踏まえて、忠敬が知らないところで第三次測量が発令される	渡辺 一郎	79-24
						79-27
■測量隊の足跡をたどる 忠敬談話室	8	「伊能忠敬測量隊の足跡をたどる」連載第十四回 [第7次測量 (九州第一次 宮崎～大分) 1810. 05. 24～1810. 08. 29 (文化07. 04. 22～文化07. 07. 30)]	監修 渡辺 一郎 編著 井上 辰男	79-31		
	9	夏休み自由研究の紹介 佐世保市立花高小学校 [6年2組]・堀江謙成さんの「伊能忠敬が通った早岐」 傘とひもを使って測量し、検証 梵天のかわりに傘、間縄のかわりに2mのビニールテープ 自宅近くの、小森橋～三辻を測定 990m……忠敬は985. 8m (没後二百年記念誌編集担当 河崎倫代)	河崎 倫代	79-40		
	10	相模国 大山探訪顛末記－伊能測量隊宿泊先は何処－	文 大沼 晃 写真・構成 狼 芳明	79-42		

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日
79号	●越後国岩船郡沿海測量〔享和02壬戌年第三次測量（1802）〕	11	ブラニイガタ2016岩船のまちあるき 伊能忠敬の足跡を辿り春の湊町を巡る 潮の香りに包まれた路地の魅力	山浦 佐智代	79-46	20160630
	お知らせ	12	専修大学文学部創立50周年行事 「伊能忠敬の原寸大復元大図フロア展」		79-49	
	△各地の記念碑	13	伊能忠敬没後二百年記念誌発行に向けてー各地の記念碑・標柱等紹介（八）ー	河崎 倫代	79-50	
			一、兵庫県篠山市〔現丹波篠山市〕			
			石柱「伊能忠敬笹山領測量の道」 篠山市追入		79-51	
			石柱「伊能忠敬笹山領測量の道」 篠山市上板井			
			石柱「伊能忠敬笹山領測量の道」 篠山市草野			
			石柱「伊能忠敬笹山領測量の道」 篠山市日置			
			二、福岡県北九州市 記念碑「伊能忠敬測量200年記念碑」 小倉城下常盤橋		79-52	
			三、福岡県大川市 石碑「第八次伊能忠敬測量隊御宿跡」		79-53	
			四、大分県国東市			
			石碑「伊能忠敬先生測量隊 御宿泊 本陣福力屋渡邊家跡」 国東市安岐町			
			石碑「伊能忠敬先生測量隊 御宿泊 小原大庄屋格後藤鉄之助宅」 国東市国東町小原			
			木柱「伊能忠敬先生測量隊 御宿泊本陣 久保屋橋本七郎右衛門家跡」 国東市国東町富来浦		79-54	
			五、大分県杵築市			
			標柱「伊能忠敬測量隊宿泊本陣跡」			
			標柱「伊能忠敬測量隊宿泊別宿跡」			
			六、宮崎県高千穂町 木柱「伊能忠敬測量隊宿泊地」		79-55	
			七、佐賀県鳥栖市 長崎街道路面表示「伊能忠敬測量基準点」			
			八、長崎県雲仙市 案内板「深浦邸（旧愛津庄屋跡）」（没後二百年記念誌編集担当 河崎倫代）		79-56	
	総会報告	14	2016年度総会報告ー伊能忠敬研究会設立20周年記念ー		79-57	
	●加賀藩測量〔享和03癸亥年第四次測量（1803）〕	15	石川県支部ニュース 加賀藩測量の足跡をたどる（五の二）	室山 孝	79-58	
			はじめに			
			二、能登町白丸～穴水町川島			
			①白丸村・高源寺（7/22）		79-59	
			②小木新町・サツマヤ徳兵衛（7/20）			
			③宇出津村・出雲屋忠兵衛（7/19・23）			
			④七海村・久作（7/18）			
			⑤古君村・助左衛門（7/17）		79-60	
			⑥甲村・惣右衛門（7/24）			
			⑦鹿浪村・藤七（7/16）			
			⑧中居村・北村重兵衛（7/14・15）			
			おわりに		79-61	
		16	訂正 第78号51頁 ①名舟村「銭子九郎兵衛」は、「前古九郎兵衛」に、「濱高悦郎氏」は「濱高悦朗氏」に訂正	室山 孝	79-61	
九州支部だより		17	伊能忠敬没後200年記念行事 「伊能測量旅程・人物全覧データベース紹介と講演の集い」福岡にて開催	九州支部長 石川 清一	79-61	
会員便り		18	姫路市で伊能図関連絵図展示	姫路市 三木 敏明	79-62	
		19	北国街道伊能ウォーク	長野県須坂市 市川 美津夫	79-63	
		20	新入会員自己紹介		79-63	
			東京都 野田 雅子			
			熊本県 平田 稔		79-64	
			石川県 大星 正嗣			
			福島県 松宮 由生子			
奥付		21	投稿要領・研究会案内・HP・編集後記（T・H）	（T・H）	79-65	
		22	2016年6月30日発行 発行 鈴木 純子 伊能忠敬研究会	編集 高安 克己 発行 鈴木 純子	79-65	